

計画の名称

山梨埼玉交流圏域活性化計画

計画の期間

平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）

計画の目標

山梨埼玉交流圏域において、交流・連携した取組を通じて、地域の価値を高め、豊かなくらしを実感できる、魅力あふれる圏域づくりを進めていくことにより、将来にわたり交流圏の活性化を図る。

主な事業

- ・（主）甲府山梨線（山梨市堀内）道路改築
- ・国道140号（山梨市）法面防災
- ・国道411号（甲州市）法面防災
- ・国道139号（大月市）橋梁耐震補強・補修
- ・国道140号（山梨市）橋梁耐震補強・補修

この計画に関する問い合わせ先 [山梨県 県土整備部 道路整備課](#)
[山梨県 県土整備部 道路管理課](#)
[山梨県 県土整備部 都市計画課](#)

事前評価チェックシート

都道府県名 山梨県 計画名 山梨埼玉交流圏域活性化計画

I. 目標の妥当性

チェック欄

1) 本方針・上位計画等との適合等	
1) 基本方針と適合している。	○
2) <u>上位計画等</u> との整合性が確保されている。 (該当するものに○) 1.国土形成計画全国計画 2.国土形成計画広域地方計画、北海道総合開発計画又は沖縄振興計画 3.社会資本整備重点計画 4.環境基本計画 5.その他 (以下の空欄に計画名を記載)	○
②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係	
1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○

II. 計画の効果・効率性

③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
5) 地域資源の活用やハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○

III. 計画の実現可能性

⑤計画の具体性	
1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	—
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	—
2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○